

7月24日：VN指数は地合いが悪化

銀行株を中心とした大型株が売られ、VN指数は上昇が予想されていたにもかかわらず下落して取引を終えた。

ホーチミン取引所で130銘柄が上昇し184銘柄が下落した。VN指数は1.05ポイント下落し988.41ポイントで取引を終えた。出来高は1億6964万株で8.2%減少し、売買代金は9.7%減少し4.2兆ドンだった。

相対取引では3680万株、1.2兆ドンが取り引きされた。FLCファロス建設(ROS)は740万株、2190億ドン、ベトジェット航空(VJC)は100万株、1360億ドンが取り引きされた。

バオベト証券は23日付のデイリーレポートで、VN指数は今後も上昇し、VN指数は外国人投資家の買い越しに支えられ、992-993ポイントに向かって上昇するだろうと報じていた。

さらに、ロンベト証券も上昇トレンドが続くと予想したが、それらの予想はすべて間違いとなった。

銀行セクターは上昇トレンドが続くというバオベト証券の予想に反し、それらの銘柄は下落した。ベトコムバンク(VCB)は利益確定圧力に押され2.5%安の76,900ドンで取引を終えた。ベトナム投資開発銀行(BID)も2.3%下落し34,450ドンで取引を終えた。

VN30指数のうち18銘柄が下落し、8銘柄のみが上昇した。ビンググループ(VIC)は1.8%上昇し122,200ドンで取引を終えた。マッサングループ(MSN)も上昇した。これら2銘柄の上昇では指数の下落を妨げることはできなかった。

ROSは出来高が1120株が取引され出来高トップだったが変わらずの28,000ドンで取引を終えた。

ハノイ取引所のHNX指数もVN指数と同じ運命をたどることになった。

HNX 指数は 0.27 ポイント下落し 106.44 ポイントで取引を終えた。出来高は 2937 万株で、売買代金は 4251 億ドンとなり前日比それぞれ 3.3%、2.2%上昇した。

アジアコマーシャル銀行 (ACB)、バオベト証券 (BVS)、サイゴンハノイ証券 (SHS)、ドゥックザン洗濯用洗剤化学品 (DGC) を含むいくつかの大型株が HNX 指数を牽引した。

サイゴンハノイ銀行 (SHB) は出来高が 661 万株でもっとも取引された銘柄であった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。